

「利用者支援事業」の概要

資料2

事業の目的

- 子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う

実施主体

- 市区町村とする。ただし、市区町村が認めた者への委託等を行うことができる。



地域子育て支援拠点事業と一体的に運営することで、市区町村における子育て家庭支援の機能強化を推進

3つの事業類型

基本型

- 「基本型」は、「利用者支援」と「地域連携」の2つの柱で構成している。

【利用者支援】

地域子育て支援拠点等の身近な場所で、

- 子育て家庭等から日常的に相談を受け、個別のニーズ等を把握
- 子育て支援に関する情報の収集・提供
- 子育て支援事業や保育所等の利用に当たっての助言・支援
→当事者の目線に立った、寄り添い型の支援

【地域連携】

- より効果的に利用者が必要とする支援につながるよう、地域の関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり
- 地域に展開する子育て支援資源の育成
- 地域で必要な社会資源の開発等
→地域における、子育て支援のネットワークに基づく支援

《職員配置》専任職員（利用者支援専門員）を1名以上配置

※子ども・子育て支援に関する事業（地域子育て支援拠点事業など）の一定の実務経験を有する者で、子育て支援員基本研修及び専門研修（地域子育て支援コース）の「利用者支援事業（基本型）」の研修を修了した者等

特定型（いわゆる「保育コンシェルジュ」）

- 主として市区町村の窓口で、子育て家庭等から保育サービスに関する相談に応じ、地域における保育所や各種の保育サービスに関する情報提供や利用に向けての支援などを行う

《職員配置》専任職員（利用者支援専門員）を1名以上配置

※子育て支援員基本研修及び専門研修（地域子育て支援コース）の「利用者支援事業（特定型）」の研修を修了している者が望ましい

母子保健型

- 主として市町村保健センター等で、保健師等の専門職が、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する妊産婦等からの様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、支援を必要とする者が利用できる母子保健サービス等の情報提供を行うとともに、関係機関と協力して支援プランの策定などを行う

《職員配置》母子保健に関する専門知識を有する保健師、助産師等を1名以上配置

～ これから子育てをはじめのみなさま、子育て中のみなさまへ ～

子育ての相談は、「子育て支援コンシェルジュ」へ

☆子育て支援コンシェルジュって？ ※コンシェルジュは、フランス語で総合世話係のこと。

みなさまの周りには、さまざまな子育て支援に関するサービスや施設があります。子育て支援コンシェルジュがお話を伺いながら、子育ての悩みや困りごとについて一緒に考え、悩みの解決や一人ひとりに合わせた子育て支援サービスの情報をお伝えします。ぜひお気軽にご利用ください。

☆こんなちょっとした悩みや困りごとはありませんか？

引越してきたばかり

近くに同世代の子どもと一緒に遊べる場所はある？

子どもの発達
が気になる

初めての妊娠で
南あわじ市の
子育てサービスや
子育て情報を
知りたい

子どもを
預かってほしい
親が病院に行く間、
家族に頼れないとき

保育所(園)や幼稚園
認定こども園
どうやって
選んだらいい？

イライラしてしまう
子どもは可愛いけれど
怒ってばかりで、どう
関わったらいいのか
分からない

育休中の悩み
親を頼れなくて、
仕事復帰してから
のことが心配

☆子育て支援コンシェルジュはここにいます！

南あわじ市役所 本館 1階7番窓口

月曜日～金曜日 8:30～17:15 (祝日・年末年始は除く。市役所開庁日時と同じ)

◇お問い合わせ◇ 子育て支援課 TEL:0799-43-5219

こそだての悩みや
そうだとわがわが、
しりたかったサービスを
えらべるように
しょうほうをお伝えし、
ゆっくりと一緒に考えます！



ゆるん

◇相談料は、無料です。
◇相談内容の秘密は守ります。

(南あわじ市子育て応援シンボルキャラクター)